

減量化目標達成に向けた施策の実施状況【基本計画P. 40】

資料4-2

(追加資料)

1) 家庭系ごみの発生抑制・減量化・資源化施策

	実施状況
①発生抑制施策	
食べ残し等の発生抑制の啓発（「買いすぎない、つくりすぎない、食べ残さない」の3ない運動等） ◆ 広報、各種イベント、出前講座等における啓発（随時）	実施
マイバックの普及促進、過剰包装の拒否の啓発 ◆ 広報、ホームページ、各種イベント、出前講座、チラシ（駅前配布）等における啓発（随時） ◆ 「買い物ごみ減量推進フォーラムしが」へ参画してレジ袋削減の取り組みを実施（平成25年度～）	実施
環境配慮物品等の使用促進、使い捨て商品の使用抑制の啓発 ◆ 広報、ホームページ、出前講座等における啓発（随時）	実施
市民団体との協働による発生抑制運動の展開（市民団体への支援） ◆ ごみ問題を考える草津市民会議との協働による各種事業の実施（随時）	実施
ごみに関する情報提供（減量効果・リサイクルの状況・ごみ処理コスト等の情報提供、広報媒体によるPR） ◆ 「草津市のごみ状況」の公表（年1回）、広報に特集記事を掲載（年2回）	実施
教育機関と連携した環境教育の推進、ごみの出前講座の推進 ◆ 公民館のやすらぎ学級での出前講座の実施、小学4年生のクリーンセンター施設見学と学習（随時）	実施
②減量化（排出抑制）施策	
ごみ処理の有料化（指定ごみ袋による単純従量制の導入）の検討 ◆ ごみの排出量や計画の目標数値を考慮し検討（随時）	実施
生ごみの水切り励行推進の啓発（「ひとしぼり」運動） ◆ 広報、ホームページ、各種イベント、出前講座等における啓発（随時）	実施
生ごみ処理容器、コンポストの普及促進 ◆ 生ごみ処理容器購入費補助金の交付、段ボールコンポスト講座の開催による普及啓発	実施
生ごみ堆肥化システムの構築の検討	未
市民農園や学校農園での堆肥利用による循環の環（わ）づくりの検討	未
店頭回収の利用促進（食品トレイ、牛乳パック、携帯電話、プリンタートナー等） ◆ 広報、ホームページ、各種イベント、出前講座等における啓発（随時）	実施
リユース衣類の活用システムの構築の検討	未
リサイクル工房の創設の検討 ◆ 新クリーンセンターにおいて実施を検討（H30年度以降）	検討中
粗大ごみの再生利用の促進 ◆ リサイクルの館において実施（～H25年度） ◆ 新クリーンセンターにおいて実施予定（H30年度以降）	実施
フリーマーケットの開催、不用品交換制度の利用促進 ◆ リサイクルフェア草津におけるリサイクルマーケット・かえっこバザール（年1回）等の実施	実施
民間リサイクルショップの利用促進 ◆ 広報、各種イベント、出前講座等における啓発（随時）	実施
③資源化施策	
資源物の集団回収の推進奨励 ◆ 資源回収活動事業推進奨励金の単価の引上げ 4円/kg⇒5円/kg（H22年度～）	実施
分別収集体制の見直しの実施（資源物収集の細分化、分別の徹底） ◆ 古紙類の行政回収の実施、プラスチック製容器包装リサイクル制度の導入（H23年度～）	実施
リサイクル推進員制度や分別指導協力員制度の導入の検討	未
ごみ出しの早朝分別指導の実施 ◆ 分別区分変更に伴い、ごみ集積所の分別状況の点検と指導を実施（H23年度） ◆ ごみ集積所の前で町内会役員等と合同で分別啓発を実施（必要に応じて実施）	実施
ごみ処理施設の見学研修の実施 ◆ クリーンセンターにおける施設見学の受入（随時）	実施
環境イベント等によるリサイクル意識向上の啓発 ◆ リサイクルフェア草津の開催（年1回） ◆ 宿場まつり、各学区ふれあいまつり等、各種イベントに参加して啓発活動を実施（随時）	実施
資源物拠点回収場所の拡充	未
剪定枝資源化システムの構築の検討（チップ化による堆肥化等） ◆ 電気式剪定枝粉碎機2台の貸出（H26年度～）	実施